

2020年第1回MFJトライアル委員会 書面審議 議事録ダイジェスト版(正式)

書面審議議題

1、2021年全日本トライアルカレンダー (報告事項 12月1日現在)

事務局より2021年度カレンダー(調整中)が報告された。最終決定次第することとなった。

2、2021全日本開催状況表・全日本審査委員長報告

事務局より2020年開催状況表と、審査委員長報告が報告され承認された。

3、2021年度全日本ランキングおよび昇格者の承認について

事務局より、2020年度MFJ全日本トライアル選手権ランキング(暫定)およびクラス昇格者(自動昇格者)が報告され規定のとおり承認された。

☆昇格規定に基づき

◎国際A級→スーパークラスへの昇格者

・自動昇格 → 廣畑 伸哉 選手(IAチャンピオン)

・スーパークラス昇格(有資格者)

→ 村田 慎示 選手 小野 貴史 選手 本多 元治 選手 木下 裕喜 選手

・国際B級→国際A級への昇格者

B級からA級への昇格者は以下の5名。

・自動昇格 → 中山 光太 選手(IBチャンピオン)

(2位から5位) → 福留 大登 選手 高橋 寛冴 選手 黒山 陣 選手 米田 悟 選手

4、昇格制度について(ポイントスケール・特別昇格・IBゼッケンNOについて)

1)全日本トライアル・地方選手権の新ポイントスケールが審議され以下のとおり承認された。

【提案理由】

モーターサイクリススポーツのメジャー化を目指す施策の一環として、外部にわかりやすいルールに整備するためMFJが管轄する全ての種目に対し、統一適用させていただきます。(他種目と共通のポイントスケールを採用する)

【改訂】 2021年度からのポイントスケール

1位	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
25p	20	16	13	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

*決勝出走台数が2台以上(1台以下は不成立)とする。

*完走者にのみポイントが与えられる。

*ボーナスポイント対象大会は、+3ポイント加算する。

*なお県大会は参加台数が少ないことから従来通りのポイントスケールとします。
1位から10位まで。

2) 特別昇格の規則改訂（制度廃止）について

事務局より2021年度より特別昇格（全日本、地方選、県大会シリーズ）が以下のとおり提案され承認された。

改定理由

選手権シリーズの昇格基準以外での特別昇格者を無くし、平準化を図る為。但し、世界選手権参戦等の理由により該当クラスに適合しないと委員会が判断する選手に限り、指名により特別昇格を認める。

<2021 国内競技規則書へ以下の表現にて記載>

特別昇降格

- ・各種目委員会より指名された者は、昇降格が義務付けられる。
- ・降格を希望する者は2021年11月1日から12月15日までにMFJへ申請する。
審議結果は後日通知される。

3) 全日本国際B級のゼッケンおよびスタート順の改定について

現在全日本において、IBクラスのゼッケン及びスタート順を決める際、ポイントを獲得していないライダーの優先順位を前大会までの成績と出場回数を考慮していたが、昨今の災害やコロナ等による大会の短期戦も考慮した場合、前大会の結果を待ってから発表すると選手にゼッケン製作や、主催者のスタートリスト作業が遅れ、結果として参加者に迷惑がかかるため、今後は国際A級同様とすることで承認された。

5、2021年全日本トライアルWEB エントリーシステムの採用について

2021年よりMFJ全日本トライアル選手権シリーズ全戦において、MFJ全日本トライアルWEB エントリーシステムを採用することが報告され承認された。

令和2年11月20日

MFJトライアル委員長

西 英樹